

9条改憲の国会発議許すな！ 関西生コン支部に連帯して 労働運動破壊を打ち破ろう！

港合同

全国金属機械労働組合 港合同
大阪市港区南市岡3・6・26
TEL 06・6583・4858
FAX 06・6583・4600

関西生コン支部への権力弾圧許すな！

今年の十一月労働者集会は、これまでの方針に加え、新たに関西地区生コン支部への大阪広域協同組合一部役員らと、民族主義を標榜し、広域協同組合の先兵となって労働破壊の宣伝活動を行うレイシスト集団と闘う決意を明らかにする集会になる。

かつて、一九七一年春闘時、当時の全金細川鉄工支部を壊滅するために右翼暴力ガードマン「特

別防衛保障」が導入され、企業内四〇〇名中、わずか十一名の全金組合員に襲い掛かった。

この時代は、総評全金の数も闘争力も活発で、大阪全域で賃上げや権利闘争が精力的に行われようとしていた時であった。

このような労働組合の先鋭化の広がりを恐れた経営者・関西経営者協会（関経協）の意を呈して、細川鉄工所はガードマンを導入したのである。細

川鉄工に入る前は、出版関係労組攻撃に導入され、関西では細川鉄工所が初めてであった。

全金港ブロック（当時の組織形態）は、全金大阪地本への要請をはじめとして全力を挙げて闘った。この右翼暴力ガードマンは、細川鉄工所のみならず、仙台の全金本山製作所にも導入、続いて細川鉄工所の一〇〇mのところにあったヤマト鍍金にも導入した。

この闘争は、八六三日の日数を要したが、暴力ガードマンを職場から追放し、併せて、国会では、「ガードマン規制法」を制定させた。これらは今

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

なお生きている闘いの成果である。

私は暴力ガードマンと対峙した者として、四七年前に発生した闘いと、

現在関西生コン支部にかけられている「大阪広域協同組合四人組らによるレイシスト集団」を使っ

た攻撃は同様だと考えている。レイシスト集団と我々には因果関係はなく、

「彼らの攻撃は殴り込みのようなもの」であり、関西生コン支部も我々も殴られて黙っておるような労働組合ではない。

返すには、労使が力を合わせなければ守れないとして協同組合と連携して生コン関連業界の発展に寄与してきた。

連帯近畿地本傘下の仲間、我が港合同と同じ、南大阪平和人権連帯会議の仲間として、関西における平和や権利を守る運動を牽引してきた組合である。

私たちは、この間多くの争議を闘い勝利してきた。今こそ、「受けた支援は運動で返す」という港合同田中機械支部の教訓を生かして、関西生コン支部・トラック支部の闘いに連帯し、レイシスト集団の労組介入を絶対

に許さず勝利するまで闘い抜く決意である。

同時に、警察による異

常な介入と弾圧、これまで一九七〇年代中ごろに吹き荒れた「全金つぶし」

ストストップ9条改憲発議！労働大改悪・総非正規雇用化と闘おう！
国鉄1047名解雇撤回！第三の分割・民営化攻撃粉碎！
改憲・戦争に向けた労組破壊を許すな！連帯労組関西生コン支部弾圧はね返そう！

11・4 全国労働者集会 / 改憲阻止！1万人大行進

正午 11月4日(日) 日比谷野外音楽堂

2時 改憲阻止！1万人大行進
 改憲反対のアピール集会。改憲阻止を闘う市民団体など各界各層から発言します。歌や演劇、パフォーマンスも行われます。

3時 銀座→東京駅までデモ行進
 改憲阻止をアピールしながら1万人行進。日比谷公園を出発し、銀座から東京駅までデモ行進。メッセージボードやプラカードを持参ください。

全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合連合会、国鉄千原動力車労働組合からの報告と訴え
 労働者組合競争勝利へ！国鉄1047名解雇撤回闘争のアピール
 韓国から民主労働ソウル地域本部などの労働代表団が来日し発言
 改憲と戦争に向けた労働連帯、連合再編攻撃との闘い
 J・R、教労、自治体、郵政など各業界における職場からの闘い
 合同・一般労働組合、青年労働者、学生の発言など

呼びかけ 全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部 / 全国金属機械労働組合連合会 / 国鉄千原動力車労働組合
 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動 / 改憲・戦争阻止！大行進

【事務局】 千代田区中央区町2-8 DC会館 TEL043(222)7267 FAX043(224)7197



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

と同一のものであり、国家的不当弾圧である。我々

は断固として闘い抜くものである。

労働組合こそが改憲阻止の先頭に立とう！

また本年三月二五日、自民党大会の開会に併せて、抗議行動、集会・デモを貫徹した。集会は、全日建連帯労組関西地区生コン支部、国鉄千葉動力車労働組合、西川重則さん（とめよう戦争への道百万人署名運動）、根津公子さん（「日の丸・君が代」不規律処分者）花輪不二男さん（世田谷地区労顧問）、森川文人さん（憲法と人権の日弁連をめざす会）の皆さんと共に呼び掛けて、「改憲・戦争阻止！大行進」

が発し、七月一日には「国鉄闘争全国運動全国集会」を勝ち取り、九条改憲・国会発議を許すな・改憲阻止の先頭に国鉄闘争の旗を立てて闘う事を宣言した。

それを受けて、関西でも改憲・戦争阻止！大行進関西結成大会を八月十九日に開催した。

先の台風二十一号により関西では多くの家屋が台風の被害を受けた。

港合同各支部分会のある会社でも、「屋根・壁・ガラス・鳥居」に甚大な

被害があり、「電話・ファックス・インターネット」などが不通となり、「停電・断水」が数日間続き、今なお押し倒されたままの公園の樹木、憩いの場所は立ち入り禁止になっている。

本当にひどい被害の実態である。けれど救いは、皆が助け合って非難せず、前に向かっていくこと。人手不足で復旧作業は簡単ではないが、同じような事が、人の意思によって起こされる「戦争」であつたならば、今回のような慰めや助け合いは決して生まれえない。憎みあう言葉ばかりが氾濫する。

朝日新聞社が九月八日

と九日に調査した結果では、自衛隊の明記などを盛り込んだ自民党の憲法改正案を次の国会に提出することの是非について「反対」四九%が「賛成」三十二%を上回った。このように国民の多くは、改憲など望んでいない。総裁選で一番議論してほしいのは、社会保障や、経済政策で五〇%、憲法改正は六番目の八%に過ぎない。

我が港合同は、戦争は絶対にアカン！九条改憲反対を掲げ、全力を挙げて闘い抜く！

（「月刊労働運動」中村委員長原稿より一部抜粋）

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！